

病害虫発生予報

第6号（9月予報）

令和4年8月29日
岐阜県病害虫防除所

【予報の概要】

作物名	病害虫名	対象地域名	9月予報	
			発生時期	発生量
水稲	穂いもち	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	多
	ツマグロヨコバイ	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	やや多
	トビイロウンカ	栽培地域全域	平年並	やや多
	斑点米カメムシ類	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	多
大豆	カメムシ類	栽培地域全域	—	やや多
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	—	平年並
かき	ハマキムシ類	岐阜・西濃地域	平年並	平年並
		中濃地域	早	やや多
なし	黒星病	栽培地域全域	—	平年並
果樹類	果樹カメムシ類	岐阜・西濃、中濃、東濃地域	—	多
		飛騨地域	—	やや少
夏秋トマト	灰色かび病	中濃、東濃、飛騨地域	—	やや多
野菜一般	アブラムシ類	栽培地域全域	—	平年並
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	—	平年並
	タバコガ類 (キクを含む)	栽培地域全域	平年並	やや多
	アザミウマ類	栽培地域全域	—	平年並
施設野菜	コナジラミ類	岐阜・西濃地域	—	平年並

※発生時期の—は連続発生

【防除にあたっての注意事項等】

薬剤防除にあたっては、「病害虫・雑草防除指導指針」を参照するとともに、最新の農薬登録情報を確認し、使用基準を遵守してください。

外部リンク：農薬登録情報提供システム（農林水産省）
<https://pesticide.maff.go.jp/>

【発生予報・根拠・注意事項等】

- I 普通作物
1 水稲

穂いもち	対象地域	発生時期 <最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	平年並（9月第3半旬頃）	多

- (1) 予報の根拠（発生量が多くなる要因を（+）、少なくなる要因を（-）で表記）
 ア 中晩生種の出穂期は、平年並と予想される。
 イ 葉いもちの発生ほ場率は、東濃地域で高く（+）、岐阜・西濃地域で平年並（±）、中濃地域で低かった（-）。
 ウ 穂いもち発生ほ場率は、岐阜・西濃、東濃地域で高く（+）、中濃地域でやや低かった（-）。
 エ 向こう1ヶ月（8/27～9/26）の気象予報によれば、気温は平年並～高く（±～+）、降水量は平年並～多い（±～+）と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
 ア 出穂期以降の多雨は、本病の発生を助長するので、葉いもち多発ほ場では特に注意する。

イ MBI-D(カルプロパミド、ジクロシメット、フェノキサニル等)剤に対する耐性菌が当県でも確認されているため、別系統の薬剤を使用する。また、QoI 剤に対する耐性菌が確認されているため、薬剤の選択に注意する。

※ 病害虫図鑑「いもち病について」もあわせて参考にしてください。

ツマグロヨコバイ	対象地域	発生時期 <幼虫最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	平年並 (9月第2半旬頃)	やや多

(1) 予報の根拠

ア 予察灯における誘殺数は、岐阜・西濃地域で少なく(－)、中濃地域で多かった(+)。

イ ほ場での発生量は、多かった(+)。

ウ 向こう1ヶ月(8/27～9/26)の気象予報によれば、気温は平年並～高く(±～+)、降水量は平年並～多い(±～-)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 地域による発生量の差が大きいため、発生状況に注意する。

※ 病害虫図鑑「水稻 ツマグロヨコバイについて」もあわせて参考にしてください。

トビイロウンカ	対象地域	発生時期 <幼虫・成虫最盛期>	発生量
	栽培地域全域	平年並	やや多

(1) 予報の根拠

ア 予察灯での誘殺数は、岐阜・西濃地域で平年並(±)、中濃、東濃地域で少なかった(－)。

イ 8月第5半旬に岐阜地域の一部ほ場で、発生が確認された(+)。

ウ 向こう1ヶ月(8/27～9/26)の気象予報によれば、気温は平年並～高く(±～+)、降水量は平年並～多い(±～-)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 今後の発生状況等について、「病害虫情報」等に注意する。

※ 病害虫情報第9号「トビイロウンカのほ場での初確認」(令和4年8月25日)、病害虫図鑑「水稻 セジロウンカ・トビイロウンカについて」もあわせて参考にしてください。

斑点米カメムシ類	対象地域	発生時期 <最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	多

(1) 予報の根拠

ア 出穂期は、平年並と予想される。

イ 予察灯でのカスミカメ類の誘殺数は、岐阜・西濃地域のアカスジカスミカメで平年並(±)、中濃地域のアカスジカスミカメ、岐阜・西濃、中濃地域のアカヒゲホソミドリカスミカメで多かった(+)。

ウ 本田では、クモヘリカメムシ、イネカメムシ等の大型カメムシ類の発生が認められた(+)。

エ 向こう1ヶ月(8/27～9/26)の気象予報によれば、気温は平年並～高く(±～+)、降水量は平年並～多い(±～-)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 散布剤による防除は、穂揃期及びその7～10日後の2回を基本とする。

イ 粒剤による防除は出穂期の7～10日後が基本となる。ただし、剤によっては施用時期が異なるため注意する。

ウ イネカメムシに対しては、一般的な斑点米カメムシ類と異なり防除時期が早く、粒剤による防除は出穂期の5～10日前が防除適期となるため、前年の被害ほ場及びその近辺では防除時期に注意する。

※ 病害虫発生予察注意報第3号「水稻：斑点米カメムシ類」(令和4年7月29日)、病害虫図鑑「斑点米カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

2 大豆

カメムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや多

(1) 予報の根拠

ア 予察灯への初飛来は、岐阜・西濃地域で早かった(+)。

イ 予察灯における誘殺数は、岐阜・西濃地域で多かった(+)。

ウ ほ場での発生は、少なかった(－)。

エ 向こう1ヶ月(8/27~9/26)の気象予報によれば、気温は平年並~高く(±~+)、降水量は平年並~多い(±~-)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 雑草地が多い地域や山間地など、地域、ほ場によって発生状況が異なるため注意する。

イ 播種が遅れたほ場については、防除時期に注意する。

※ 病害虫図鑑「大豆 カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップにおける誘殺数は、岐阜・西濃地域で平年並であった(±)。

イ 向こう1ヶ月(8/27~9/26)の気象予報によれば、気温は平年並~高く(±~+)、降水量は平年並~多い(±~-)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

イ フェロモントラップを設置してモニタリングしているほ場では、今後の誘殺数に十分注意する。

※ 病害虫図鑑「大豆 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

II 果樹等作物

1 かき

ハマキムシ類	対象地域	発生時期<第4世代幼虫最盛期>	発生量
	岐阜・西濃地域	平年並(10月第3半旬頃)	平年並
	中濃地域	早(9月第6半旬頃)	やや多

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップにおける第2世代成虫の誘殺最盛期は、岐阜・西濃地域のチャノコカクモンハマキでやや早かった。

イ フェロモントラップにおける第2世代成虫誘殺数は、岐阜・西濃地域のチャノコカクモンハマキで平年並(±)、中濃地域のチャハマキが多かった(+)

ウ ほ場での第3世代幼虫被害果率は、低かった(-)。

エ 向こう1ヶ月(8/27~9/26)の気象予報によれば、気温は平年並~高く(±~+)、降水量は平年並~多い(±~-)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア ヘタ部やつづりあわせた葉内などに生息するため、薬剤防除はていねいに行う。

※ 病害虫図鑑「かき ハマキムシ類について」もあわせて参考にしてください。

2 なし

黒星病	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア 発病葉率は、岐阜・西濃地域で平年並(±)、中濃地域で少なかった(-)。

イ 向こう1ヶ月(8/27~9/26)の気象予報によれば、気温は平年並~高く(±~-)、降水量は平年並~多い(±~+)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 多発園では秋期防除を徹底し、次年度の伝染源の発生を抑制する。

※ 病害虫図鑑「なし 黒星病について」もあわせて参考にしてください。

3 果樹共通

カメムシ類	対象地域	発生量
	岐阜・西濃、中濃、東濃地域	多
	飛騨地域	やや少

(1) 予報の根拠

ア 予察灯における成虫誘殺数は、岐阜・西濃、中濃地域で多く(+)、東濃、飛騨地域で少なかった

(一)。

イ フェロモントラップにおける誘殺数は、岐阜・西濃、中濃、飛騨地域で少なく(一)、東濃地域でやや少なかった(一)。

ウ 向こう1ヶ月(8/27~9/26)の気象予報によれば、気温は平年並~高く(±~+)、降水量は平年並~多い(±~-)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 気温、湿度が高く、風が弱い夜間に飛来が多くなるので注意する。

※ 病害虫図鑑「果樹カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

Ⅲ 野菜

1 夏秋トマト

灰色かび病	対象地域	発生量
	中濃、東濃、飛騨地域	やや多

(1) 予報の根拠

ア 8月下旬調査時の発病果率は、中濃、東濃地域でやや高~高く(+)、飛騨地域で低かった(一)。

イ 発病株率は、中濃地域で平年並(±)、東濃、飛騨地域でやや低~低かった(一)。

ウ 向こう1ヶ月(8/27~9/26)の気象予報によれば、気温は平年並~高く(±~-)、降水量は平年並~多い(±~+)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤耐性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「トマト 灰色かび病について」もあわせて参考にしてください。

2 野菜一般

アブラムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア 黄色水盤での誘殺数は、中濃地域で多く(+)、岐阜・西濃、東濃、飛騨地域でやや少~少なかった(一)。

イ ほ場での発生は、少なかった(一)。

ウ 向こう1ヶ月(8/27~9/26)の気象予報によれば、気温は平年並~高く(±~+)、降水量は平年並~多い(±~-)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「ナス アブラムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップの誘殺数は、中濃地域で多く(+)、岐阜・西濃、東濃地域でやや少~少なかった(一)。

イ サトイモでの発生は少なかった(一)。

ウ 向こう1ヶ月(8/27~9/26)の気象予報によれば、気温は平年並~高く(±~+)、降水量は平年並~多い(±~-)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫図鑑「野菜類 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

タバコガ類 (野菜類・キク)	対象地域	発生時期 <若齢幼虫最盛期>	発生量
	栽培地域全域	平年並 (9月第2半旬頃)	やや多

(1) 予報の根拠

ア 野菜類のフェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺時期は、中濃地域で平年並であった。

イ 野菜類のフェロモントラップにおける誘殺数は、中濃、東濃地域でやや少~少なく(一)、飛騨地域で多かった(+)

- ウ 中濃地域でのキクフェロモントラップにおける誘殺数は、オオタバコガでやや多く（＋）、タバコガでやや少なかった（－）。
- エ 向こう1ヶ月（8/27～9/26）の気象予報によれば、気温は平年並～高く（±～＋）、降水量は平年並～多い（±～－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫図鑑「ナス タバコガ類について」もあわせて参考にしてください。

アザミウマ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア なすほ場での発生は、岐阜・西濃、東濃地域で少なく（－）、中濃地域で多かった（＋）。

イ 向こう1ヶ月（8/27～9/26）の気象予報によれば、気温は平年並～高く（±～＋）、降水量は平年並～多い（±～－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「キュウリ ミナミキイロアザミウマについて」もあわせて参考にしてください。

3 施設野菜

コナジラミ類	対象地域	発生量
	岐阜・西濃地域	平年並

(1) 予報の根拠

ア トマト施設周辺に設置した黄色粘着板への誘殺数は、やや少なかった（－）。

イ 向こう1ヶ月（8/27～9/26）の気象予報によれば、気温は平年並～高く（±～＋）、降水量は平年並～多い（±～－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 発生はほ場ごとに差があるため、ほ場内をよく観察し発生が認められる場合は薬剤防除を実施する。

※ 病害虫図鑑「トマト コナジラミ類について」もあわせて参考にしてください。

[参考資料1]

【8月の調査における病害虫発生量】

作物名	病害虫名	調査地点での発生量：8月			
		岐阜・西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
水稲	穂いもち	多	やや少	多	平年並
	紋枯病	少	少	やや多	少
	ツマグロヨコバイ	平年並	多	－	－
	セジロウンカ	平年並	やや多	少	少
	トビイロウンカ	平年並	少	少	少
	斑点米カメムシ類	やや多	多	－	－
大豆	カメムシ類	平年並	－	少	－
	ハスモンヨトウ	平年並	－	少	－
かき	ハマキムシ類	平年並	やや多	－	－
	カキノヘタムシガ	やや少	－	－	－
なし	黒星病	平年並	少	－	－
果樹共通	果樹カメムシ類	多	やや多	やや少	少
夏秋トマト	灰色かび病	－	やや多	やや多	やや少
野菜一般	アブラムシ類	少	平年並	少	やや少
	ハスモンヨトウ	やや少	多	少	－
	タバコガ類	－	やや少	やや少	やや多
	アザミウマ類	少	平年並	少	－
施設野菜	コナジラミ類	やや少	－	－	－

※ 調査地点はほ場、予察灯、フェロモントラップ等

[参考資料 2]

【東海地方 1 か月気象予報】（抜粋）－名古屋地方気象台 令和 4 年 8 月 2 5 日発表－

《予想される向こう 1 カ月の天候（8 月 2 7 日から 9 月 2 6 日）》

- ・天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
- ・平均気温は、平年並または高い確率ともに 4 0 % です。
- ・降水量は、平年並または多い確率ともに 4 0 % です。
- ・日照時間は、平年並または少ない確率ともに 4 0 % です。
- ・週別の気温は、1 週目は、平年並の確率 5 0 % です。2 週目は、平年並の確率 5 0 % です。3 ～ 4 週目は、高い確率 5 0 % です。

[向こう 1 ヶ月の気温、降水量、日照時間の各等級の確率（%）]

	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
平均気温	20	40	40
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

[気温経過の各階級の確率（%）]

	低い	平年並	高い
(1 週目) 8/27～9/2	20	50	30
(2 週目) 9/3～9/9	30	50	20
(3～4 週目) 9/10～23	20	30	50

[参考資料 3]

《用語の基準と使用法》

- 1 半 旬 月の 1 ～ 5 日を第 1 半旬、6 ～ 1 0 日を第 2 半旬と表す。
- 2 時 期 平年並 平年値を中心として前後 2 日以内。
 やや早い 平年値より 3 ～ 5 日早い。
 やや遅い 平年値より 3 ～ 5 日遅い。
 早い 平年値より 6 日以上早い。
 遅い 平年値より 6 日以上遅い。
- 3 発 生 量 平年並 平年値を中心として、その値が ± 2 0 % 以内。
 やや多い 平年値より、その値が 2 1 ～ 4 0 % 多い。
 やや少ない 平年値より、その値が 2 1 ～ 4 0 % 少ない。
 多い 平年値より、その値が 4 1 % 以上多い。
 少ない 平年値より、その値が 4 1 % 以上少ない。
- 4 平年値 同一調査地点における過去 1 0 年間の値の平均値。

病虫害防除所ホームページに、病虫害発生予察調査データを公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2979.html>

主要な病虫害の防除上の注意事項等については、「病虫害図鑑」をご活用ください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/12933.html>